

免疫のお話『アナフィラキシー』編

アナフィラキシーが起こったときの対処法

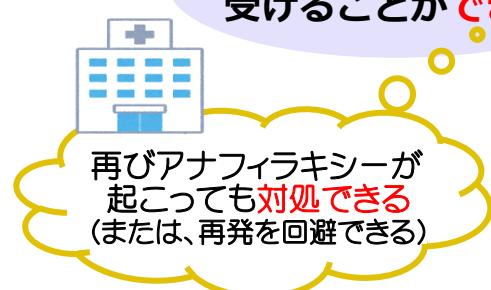
< アナフィラキシーとは >

- ・原因物質が体内に侵入後、5~30分で全身に症状が出る強いアレルギー反応のこと
- ・食品、ハチ毒、医薬品、ラテックス（天然ゴム由来の成分）などが原因で起こることが多い
- ・重度の場合、放置すると死に至ることがある



< 症状（複数同時にみられます）>

- ・体中に赤み、ぶつぶつが出る
 - ・くしゃみや強い咳が出る
 - ・顔が青白くなり、立っていられない
 - ・ゼーゼーする呼吸
 - ・腹痛、吐き気
- など

救急車を
呼ばない場合救急車を
呼んだ場合アナフィラキシー症状が
少し回復アナフィラキシー症状が
少し回復安静
その
場
です
る医師の診察・治療を
受けることが
できない病院
救急車
へ搬送医師の診察・治療を
受けることが
できる

アナフィラキシーは、医薬品のエピペンを使用した後でも、再び起こることがあります。エピペンは、あくまで病院へ搬送するまでの時間を稼ぐためのものです。そのため、エピペンを使用した後は**すぐに救急車を呼び、病院へ搬送する必要が**あります。

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽に尋ねください。

《一出張相談会—保健室に学校薬剤師が来ます》
ドラッグレターの内容、医薬品や健康、薬物乱用などについて、相談・聞きたいことがある人は保健室まで!
2月は中止します。(相談等は保健室の先生まで!)

作成・発行元 北陸大学薬学部
准教授 大柳賀津夫(学校薬剤師)
准教授 岡本晃典(薬剤師)

